

中央公民館

佐倉地区の概要

佐倉地区は、京成電鉄軌道の北側の旧内郷村地区と南側の旧城下町地区とに大別される。

内郷地区は、宮前地区で宅地開発が進み、その他の地区は田畑が広がっている。また、印旛沼を北にのぞみ、佐倉草ぶえの丘、市民の森、岩名運動公園などの施設がある。

京成電鉄とＪＲ総武本線、鹿島川にはさまれた旧城下町地区は、未だに城下町当時の面影が所々に残っており、国立歴史民俗博物館、佐倉城跡、武家屋敷、順天堂記念館、平成１８年に国の重要文化財（建造物）に指定された旧堀田家住宅及び、庭園を含む一帯は「旧堀田正倫庭園」として平成２７年３月に国の名勝に指定されるなど、歴史と文化の環境に恵まれている。平成２８年４月には「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」として佐倉市、成田市、香取市、銚子市の四都市が「日本遺産」に認定された。また、城下町の面影を残す台地上に、市役所、裁判所、検察庁そして、佐倉図書館、市民体育館、市立美術館など公共施設が集中しており、商店街も形成している。

中央公民館は、この台地の南側の低地に佐倉保育園と並んで建っている。付近には、平成１１年３月に建設された千葉県印旛合同庁舎がある。ＪＲ佐倉駅、京成佐倉駅ともに徒歩１５～２０分、最寄りバス停から１０分の場所に位置する。

佐倉地区のデータ

【令和６年３月末現在】

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ○佐倉地区：面　　積　　約２０．６㎢ | （佐倉市：面　　積　　１０３．６９㎢） |
| ○佐倉地区：住基人口　　２７，４１０人 | （佐倉市：住基人口　　１６９，９３０人） |
| ○佐倉地区：人口密度　　１，３３０人/㎢ | （佐倉市：人口密度　　１，６３８人/㎢） |

1. 公民館運営計画

新型コロナウイルス感染拡大防止

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたものの、施設利用者等の健康と安全を最優先とすべく、引き続き、様々な感染症に対する感染拡大防止対策の意味合いも含めての衛生対策を講じていく。

開館中は、施設内の消毒を適宜実施し、計画事業は、感染リスクを回避する方策を工夫し、無理なく実施可能な事業を見極めながら実施していく。

運営方針

歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことを目指す。

努力目標

- 施設利用者等の健康と安全を最優先に、引き続き、様々な感染症に対する感染拡大防止対策の意味合いも含めての衛生対策を講じていく。
- 利用者に対して、快い適切な対応をするように努める。
- より多くの方に利用してもらうよう施設設備の提供に工夫をすると共に、安全管理に努める。
- 社会状況の変化を踏まえ、次代を見据えた学級・講座の充実に努める。
- 公民館に関係する各種団体との連携を図り、活動の支援に努める。

事業内容

1. 施設・備品の提供

- (1) 施設の提供（団体、グループ単位）
 - ① 開館時間 午前9時から午後9時まで。
ただし、月曜日・祝日・夜間利用がない場合は、午後5時まで。
 - ② 利用区分 1時間単位
 - ③ 休館日 第2・第4月曜日、及び年末・年始（12月28日～1月4日）。

- (2) 備品の提供（団体、グループ単位）
館外貸与できるもの 机、椅子、拡声装置、視聴覚機器、視聴覚教材

2. 学級講座

地域の特性を活かした、各世代に応じた学習機会の提供と学習内容の充実

3. 団体育成事業

利用団体や関係団体の学習活動と地域活動の支援

4. 広報事業

施設や関係団体の情報提供、SNSを活用した情報発信の推進

2. 公民館利用状況

年度別利用状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用件数 (件)	4,720	1,649	3,490	4,428	4,229
利用人数 (人)	90,628	25,061	44,767	53,692	56,413
開館日数 (日)	318	272	334	335	335

※利用可能回数（下記）が施設により違う理由

下記の貸館があったため

・令和5年5月22日（月） 印旛郡市文化財担当者連絡協議会総会

令和5年度施設別年間稼働率

施設名称	利用可能回数	利用回数	稼働率
大ホール	3,856	2,133	55.3%
研修室1	3,856	1,452	37.7%
プレイルーム	3,856	382	9.9%
研修室2	3,856	1,369	35.5%
研修室3	3,856	1,307	33.9%
調理室	3,856	570	14.8%
和室	3,856	628	16.3%
会議室	3,856	1,172	30.4%
アトリエ	3,856	1,075	27.9%
工芸室	3,856	642	16.6%
学習室1	3,856	1,590	41.2%
学習室2	3,856	1,376	35.7%
学習室3	3,860	1,576	40.8%

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	家族と一緒に土いじり 「初めての陶芸にチャレンジ！」	小学生と保護者	7/23 7組16人 8/27 7組14人	家族で土とふれあい、協力してものづくりすることにより、コミュニケーションを図る機会とするとともに、陶芸の基礎を学ぶ。
	親子でアート 「窓ガラスお絵かきワークショップ～お日様の光で公民館に星座を描こう！～」	小学生と保護者	8/6 11組28人	中央公民館の窓ガラスに自由にお絵かきをしてもらうことで、子供たちの自由な感性を育むとともに、親子で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。
	親子でアート 「床アートワークショップ～空から見た地球を描こう！」	小学生と保護者	8/18 12組32人	中央公民館のロビーの床に親子で自由にお絵かきをしてもらうことで、親子で一緒にものを創り出すことの楽しさを感じてもらう。
青少年教育	夏休み子どもゼミナール	小学5年生～中学生 ※夜間講座は家族同伴	7/26 14人 7/30 8人 8/17 14人 8/26 34人	星空観察や環境等(天気・廃油石鹸・牛乳パック葉書)について、専門の講師を招き、少人数制で体験的に学ぶ。星空観察は和田公民館との共催。
	四季の草木染めワークショップ	小学生以上	8/5 19人 10/14 16人	藍の生葉や落葉など身近な素材を使って草木染めを学ぶ。
	佐倉市・女子美術大学 連携事業 「日本画ワークショップ」	小学校高学年～中学2年生	8/17 10人	女子美術大学教員・学生の指導を受けながら日本画を体験する。
	夏休み学習ルーム	小学生から一般市民まで	7月下旬～8月中	夏休み期間中、自主学習の場を提供する。
青少年教育	公民館利用団体に夏休みに小学生向けの体験講座を開催してもらうことで、各団体の学習の成果を発揮し子どもたちとの交流を図った。			
	夏休みなんでもチャレンジ	子どもから大人まで	7/16 250人	毎年夏季にコンサートを開催する「佐倉シャルマン・ウィンド・オーケストラ」のファミリーコンサート。子どもたちにとって生演奏を聴く貴重な機会となった。
	花とあそぼう・いけばな教室	小学1～6年生	7/26 10人 7/27 12人	佐倉市華道連盟が指導。季節の花や草を使い、よい形になるいけ方や花の切り方を教えてもらいながらいけ花を作成した。
	スクエアダンスに挑戦しよう！	小学1～6年生	7/28 6人	シャトー佐倉SDCが指導。音楽に合わせ、指示を聞きながら目まぐるしくフォーメーションを変えて踊る。ハイタッチを交えるなど世代間の交流を楽しみながら体験していた。
	ニューススポーツにチャレンジ	小学1～6年生	7/30 10人	佐ちゃん倉くん応援隊25が指導。お手玉をつかったニューススポーツ、お手玉カーリングとお手玉合戦を体験した。
	竹ひごで魚のモビールを作ろう	小学5・6年生	8/8, 10 4人	竹工芸友の会が指導。竹ひごを使い、魚のモビールを作った。参加者それぞれ講師がつき、竹ひごの扱い方を学んだ。
	夏休み影絵教室	小学1～6年生 (1～2年生は保護者同伴)	8/5 10人 保護者 5人	影絵塾9が指導。影絵劇を観賞して、登場する人形を自分で作り、スクリーンに映して演技する体験をした。
	佐倉東高校連携事業 「みんなでワクワク書道パフォーマンス！」	小学4年生から中学生	8/2 10人	佐倉東高校書道部に書道パフォーマンスの実演、指導をしてもらい、小中学生に文字を書くことの楽しさを実感してもらう。
佐倉学	成人教育講座 「生活を楽しむ 竹細工の魅力」	成人	12/3 24人	座学と竹細工の工作体験を行う。

領域	事業名	対象	期間・回数	内 容
成人教育	佐倉市民カレッジ 《であい課程》 第1学年 第2学年 2年間の学習コース 《専攻課程》 第3学年 第4学年 2年間の学習コース (以下の4コース) あったか福祉コース ふるさと歴史コース さわやか情報コース ゆっくり元気コース	第1学年		高齢化社会の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域と連携をもちながら、住みよいまちづくりを考え、実践をととした生涯学習の場とする。「であい課程」では、主に一般教養科目を学ぶ。その領域は、健康・家庭・生きがい・経済・佐倉の歴史・環境・市政・福祉・国際理解・仲間づくり等である。「専攻課程」は、福祉・歴史・情報・元気の4分野に分かれて行う専門別学習コースであり、卒業後の実践活動に役立たせるために、体験学習、話し合い、発表等の学習方法を取り入れている。
		成人	5月～ 2月 30回	
		第2学年		
		成人	5月～ 2月 30回	
		第3学年		
		成人	5月～ 2月 22回	
		第4学年		
		成人	5月～ 2月 23回	
広報活動	ホームページ	市民	随時	中央公民館の主催事業等を掲載し、情報を提供する。
	SNS・YouTube	市民	随時	中央公民館の情報を発信する。
視聴覚ライブラリー事業	視聴覚機器貸出	登録団体	随時	視聴覚ライブラリー所有機材・教材の貸出を行う。

1. 家庭教育事業

家族で一緒に土いじり「陶芸にチャレンジ！」

①開設趣旨 家族で一緒に土とふれあい、協力してものづくりをすることにより、コミュニケーションを図る機会とする。また、陶芸の基礎を学ぶ。

②募集対象 小学生と保護者 7組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月23日（土） 9：30～ 12：00	親子で陶芸を体験する。	陶芸家 安本 幸世
2	8月27日（土） 9：30～ 12：00	作品に絵付けをする。講義。	陶芸家 安本 幸世

④講座を終えて 当該講座は昨年に引き続きの陶芸体験の講座である。

「家族で陶芸に挑戦します！生活を彩る陶芸作品を一緒に作りませんか？」として参加者を募集したところ、7組の定員枠に28組のご応募があった。当該講座は、「1組：保護者1名に小学生2名まで」としていること及び講師から細かなアドバイスを受け得る人数であることという2つの観点から7組という定員枠を設けているが、これはつまり、すべての組が小学生1人であった場合と2人であった場合とでは、全体として14～21人の幅があるということである。

参加人数が16人だった今回（2組が小学生2人）、講師は休みなく各参加者の進捗状況に応じたアドバイスをし、時にアドバイスの順番を待つ参加者が見受けられたものの、講座後のアンケートでは「満足」「楽しかった」「次回も参加したい」とする回答が殆どであり、当講座においては、現在の定員枠である14～21人の幅が、かろうじて適正範囲と考える。

応募者の関心が高い講座について、より多くの方に参加いただけるよう考える場合、特殊技能のある講師に指導いただきながら制作を行う当該講座のような内容は、定員枠の拡大が難しい。一方、そうした内容ゆえに、関心や満足度の高さに繋がっていることも否めない。こうした両立の困難さ（定員枠の拡大と内容）について、その他の諸条件も勘案しながら、いかに対応していくかということは、当講座の大きな課題であると考ええる。

親子でアート「窓ガラスお絵かきワークショップ」

①開設趣旨 中央公民館の窓ガラスに自由にお絵かきをしてもらうことで、子供たちの自由な感性を育むとともに、親子で一緒にアートすることの楽しさを実感してもらう。

②募集対象 小学生と保護者 11組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月6日（日） 10：00～ 12：00	中央公民館1階ロビーの窓ガラスに、親子で絵を描いてもらう。	久本 綾 （アトリエティエラアスールこども造形教室講師）

④講座を終えて 3回目となる今回は、実際に窓ガラスにお絵描きをするのではなく、窓ガラスに貼った画用紙を夜空に見立てて、そこにお絵描きをしてもらった。紙だけ

らこそできる切り絵等の工作作業を加え、星空をテーマに作業を行った。佐倉東高校美術部製作の星空モビールを会場に飾ったり、市内図書館から星空関連の本を借用し、星空製作の助けとなるよう工夫した。使う道具がこれまでクレヨンのみだったのとは異なり、ハサミやセロハンなど色々な道具を使いながら描く作業は好評で、アンケートでは100%の満足をいただいた。11組の参加者が作り上げた星空作品は個性が溢れながらも統一感のある美しい作品に仕上がった。1か月間展示を行ったので、来館者の方にも暑い夏の時期に星空の世界を楽しんでいただけた事業となった。

親子でアート「床アートワークショップ」

①開設趣旨 中央公民館のロビーの床に親子で自由にお絵かきをしてもらうことで、親子で一緒にものを創り出すことの楽しさを感じてもらう。

②募集対象 小学生と保護者 12組

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月18日（日） 10:00～ 12:00	中央公民館周囲のロビーの床に、親子で絵を描いてもらう。	久本 綾 （アトリエティエラアスールこども造形教室講師）

④講座を終えて 床アートは昨年行った道路アートの室内版という形で実施した。プラスチック段ボール12枚をキャンパスにして、「空から見た地球」をテーマにアクリル絵の具で山や森、海など参加者が考える地上の絵を大きく自由に描いてもらった。

道路アートと同様、大きなキャンパスに全身を使って絵を描く作業は、普段家ではできないことであり、保護者の方含め参加者はとても楽しそうに作業に没頭していた。

昨年同様、佐倉高校美術部の皆さんにもボランティアとして参加してもらった。子供たちが描く作業を手伝うという立ち位置を明確にしたことで、昨年よりさらに世代間交流は深まるとともに、参加者の要望に対する細やかな対応に繋がった。

また窓ガラスワークショップは描くエリアが限定的だったが、描くエリアを自由にすることで、参加者間の交流を促進することができた。

結果として、アンケートでは、子ども、大人、どちら側からも高い評価をいただき、満足度の高い事業となったと思う。

2. 青少年教育事業

夏休み子どもゼミナール

- ①開設趣旨 科学分野の専門家の方々を講師に招き、少人数制でゼミ形式の講座を開催することにより、子どもたちに科学について興味を持ってもらうことをねらいとする。令和5年度は、下記「③プログラム」の分野にて講義を行っていただいた。
- ②募集対象 小学5年生～中学生※4は家族同伴可 20人～30人
- ③プログラム

	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	7月26日(水) 10:00～ 11:30	天気を予想できるナゾ 天気予報の仕組みを分かりやすい 解説で学ぶ。	銚子地方气象台 鈴木 智也 園田 麻帆 田中 智也
2	7月30日(日) 14:00～ 16:00	廃食油で作る「ふりふり石けん」 廃食油（揚げ物に使った後の油） から石けんを作って「リサイク ル」がごみを減らし温暖化防止に つながることを学ぶ。	千葉県地球温暖化防止 活動推進員 廣田 由紀江
3	8月17日(木) 14:00～ 16:00	牛乳パックDE紙すきハガキ作り 牛乳パックを原料に紙すきをして 色とりどりのうちわを作って「紙の リサイクル」を学ぶ。	千葉県地球温暖化防止 活動推進員 廣田 由紀江
4	8月26日(土) 19:00～ 20:30	天体望遠鏡で星空観察 天体望遠鏡で星を実際に観察する ことで、星がどのように見えるの か学ぶ。	天体観望会支援グルー プ「宇宙魅せ隊」代表代 行／星のソムリエみた か 星空案内人 芳野 雅彦

- ④講座を終えて 昨年度もお引き受けいただいた講師による講座であったため(気象台の講座についてのみ、「中央公民館での講座は初めて」という講師が2人いらっしゃった)、参加者の中には、「昨年度、先生の講座が楽しかったので、今年も応募しました」という方もおり、どの講座も和やかな雰囲気が漂う講座となった。

「天気を予想できるナゾ」では、雲を作る簡単な実験を楽しむと同時に災害についても学ぶことが出来、また、「廃食油で作る「ふりふり石けん」」、「牛乳パックDE紙すきハガキ作り」においては、工作を楽しむと同時に地球温暖化等の環境問題についても、学ぶことが出来た。「天体望遠鏡で星空観察」においても、講師がご持参くださった多数の機器で、普段、なかなか体験出来ない電子観望を体験し、参加者も興味深く星空を眺めていらした。

前年度からの大きな変更点としては、講座の受付方法をちば電子申請システムでおこなった点である。これにより、応募者と主催者の双方にとって、効率の良い受付が出来たことは大きな収穫であったと考える。

今後も、システム受付についてより理解を進め、講座の周知方法とともに、応募者と主催者の双方にとって、より効率的で効果的な方法を模索し、事業の応募者を増やしていきたい。

四季の草木染めワークショップ

- ①開設趣旨 身の回りの草花野菜から色を抽出して布を染める体験を通して、佐倉市の四季の移り変わりを実感し、佐倉の自然の豊かさを学んでもらう。また天然染料によっ

て生み出す「布」作りを通して、「布」、ひいてはモノを大事にする心を養う。

②募集対象 小学生以上 16人～20人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月5日（土） 10:00～ 12:00	藍染めエコバック、藍染めガーランドを作る	草木染め染色家 駒澤 菜穂子
2	10月14日（土） ① 9:30～ 11:00 ② 10:30～ 12:00	エコプリント染めのエコバック、エコプリント染めのガーランドを作る	

④講座を終えて 今年度は草木染め染色家の駒澤菜穂子さんに講師をお願いしたため、昨年と違った進め方となったが、非常に熱心に指導をしていただき、染めも色々な技法を詰め込んだ盛りだくさんの内容となった。

染める作品自体も参加者が持ち帰る作品に加え、ロビーに展示する染めガーランドを、参加者全員で一緒に製作した。これは一緒に何かを作り上げることで、参加者間の交流を促進する狙いがあったが、その狙いどおり、会話が活発になり、非常に盛り上がった。ただ、作業工程が増えたことにより、どの回も時間が延長となってしまう、参加者の中には途中で帰る方もいらっしゃった。

アンケートの満足度は非常に高かったが、時間通りに終わるような作業工程を事前に講師ときちんと話し合う必要性を感じた。

草木染めワークショップは毎回応募数も多く抽選となるため、参加人数を多めに設定するが、先生が指導できる許容人数もきちんと見極めていきたい。ガーランドはロビーに一月間展示し、来館者にも染め作品を楽しんでいただき、草木染めワークショップの周知にも繋がったと思う。

佐倉市・女子美術大学連携事業「日本画ワークショップ」

①開設趣旨 日本画は画材の種類や取扱いについて複雑な性質を有するため、学校活動や習い事などでも体験の機会を持つことが難しい文化芸術活動のひとつになっている。協定および近隣在住講師の協力のもと、長く受け継がれてきた日本画の描画・彩色と、天然素材から生まれる画材を通して、伝統文化やその伝承に必要な環境への関心を高める。

②募集対象 小学校高学年～中学2年生 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月17日（木） A 10:30～ 12:00 B 13:30～ 15:00	日本画の画材でうちわに絵を描く	女子美術大学 芸術学部日本画専攻 非常勤講師 神保 千絵

④講座を終えて 文化課と共催で実施した。中央公民館では応募事務、当日の会場準備、参加者対応を行った。

ワークショップでは、講師説明のあと、墨・膠・岩絵具の特徴を体感しながら、うちわへの作画を行った。参加者のほとんどは保護者からのすすめで申し込んでおり、ごく少数ではあるが、日ごろ描くことに親しんでいないという子どももあり、過去の一般向け募集

より参加層を広げることができた。

日本画は、制作に要する作業が多岐にわたり、体験機会を得にくい芸術文化のひとつとなっている。当市は、協定に加えて、市内文化活動に関わりのある講師陣にご協力いただくことができる環境にある。今回の結果から、今後も当市文化普及事業・青少年教育事業として実施していく意義があると思われる。

みんなでワクワク書道パフォーマンス 佐倉東高等学校連携事業

①開設趣旨 書道は日本の伝統文化の一つであるが、学校の教科以外では、筆を持つ機会は少なくなりがちである。

近年、関心が高まりつつある書道パフォーマンスを、佐倉東高等学校書道部の協力により実演・指導をしていただくことにより、小・中学生に文字を書くことの楽しみを体感してもらうことを目的とする。

なお、郷土の先覚者の一人・香川松石は書道教育を日本全国に広めた書家であることから、本事業を佐倉学の一環として位置付ける。

②募集対象 小学4年生から中学生 10人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	8月 2日（水） 10：00～12：00	（1）佐倉東高校書道部によるパフォーマンス （2）参加児童・生徒による書きたい文字の練習・清書 （3）参加児童・生徒による大筆を使ったパフォーマンス体験	佐倉東高等学校書道部員

④講座を終えて 参加者は10人。小学4、5年生が8人、中学生が2人。小さい子を教える経験がなかった書道部員と、大筆を含む様々な筆を使った書道体験をすることになった小・中学生それぞれに戸惑いがあったものの、互いに協力し合いながら作品作りに没頭することで、新鮮さと達成感を得られたことは大きな収穫であり、満足度の高い事業となったと思われる。

特に今回の書道部員のような高校生が人を教える立場を体験することは、今後の自らの活動においても良い影響を与えるものと考えられ、公民館事業に機会をとらえて参画してもらうことで、高校生の公民館に対するイメージ変化につなげていきたい。

また、事業終了後の夢咲くら館や公民館内での作品展示、その他動画配信を行ったことは、本事業を広く知ってもらう上で効果的であった。

令和5年度 小学生夏休みなんでもチャレンジ実績報告

①開設趣旨 公民館利用利用団体に夏休みに小学生向けの体験講座を開催してもらうことで、各団体の学習の成果を発揮し子どもたちとの交流を目指す。

②募集対象 小学生（主に佐倉地区の小学校）

③開催期間 小学生の夏休み期間

④協力団体募集 中央公民館窓口にて4月下旬から6月上旬まで協力団体募集のチラシ

を配布し、6団体の申込を得た。

⑤参加者募集 こうほう佐倉で周知するほか、小学生向け公民館だよりを作成し、主に佐倉地区の小学校に配布した。

⑥プログラム及び参加者数 以下のとおり

⑦講座を終えて 公民館利用団体6団体の協力を得て実施した。講師役を務める公民館利用団体にとっても、子どもたちとの交流は新鮮な気持ちで活動することのできる貴重な体験となっている。今後、協力団体をさらに増やしていきたい。

★佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラファミリーコンサート

演奏 佐倉シャルマン・ウインド・オーケストラ

日時 7月16日(日)14:00～16:00

会場 中央公民館1階大ホール

参加無料 全自由席 申込不要

参加者数 250人

★花とあそぼう・いけばな教室

指導 佐倉市華道連盟

日時 ①7月26日(水)10:00～12:00

②7月27日(木)13:30～15:30

会場 中央公民館3階アトリエ

対象 市内小学生 定員 各回10人 参加費 1回500円

持ち物 筆記用具、ハンドタオル、花を持ち帰る袋(レジ袋など)

参加者数 ①7月26日(水) 10人 ②7月27日(木) 12人

★スクエアダンスに挑戦しよう!

指導 シャトー佐倉SDC

日時 7月28日(金)13:00～14:30

会場 中央公民館1階大ホール

対象 市内小学生 定員 8人 参加無料

持ち物 水、ハンカチ、運動しやすい服装と靴

参加者数 6人

★ニュースポーツにチャレンジ

指導 佐ちゃん・倉くん応援隊25

日時 7月30日(日)9:30～12:00

会場 中央公民館1階大ホール

対象 市内小学生 定員50人 参加無料

参加者数 10人

★竹ひごで魚のモビールを作ろう

指導 竹工芸友の会

日時 8月8日(火)・10日(木)の2日間 9:00～12:00

会場 中央公民館3階アトリエ

対象 市内小学5～6年生 定員 10人 参加無料

参加者数 4人

★夏休み影絵教室

指導 影絵塾9

日時 8月23日(水)10:00～15:00

会場 中央公民館 2 階研修室 2

対象 市内小学生 (1 ～ 2 年生は保護者同伴)

定員 10 人 参加無料 持ち物 お弁当、カッター (細めタイプ)

参加者数 小学生 10 人 保護者 5 人

3. 成人教育事業

成人教育講座「生活を楽しむ 竹細工の魅力」

①開設趣旨 伝統技法の研究・創作活動に取り組む「佐倉竹芸保存会」を講師に招き、竹芸の魅力を語っていただき、その作品を鑑賞するとともに、実際に会のメンバーの指導で工作体験をしていただくことにより、身近な素材を用いた物づくりの楽しさを学び、芸術文化を愛し、自らの生活を豊かにするきっかけづくりの場とする。

②募集対象 成人 30人

③プログラム

回	実施日（曜日）	学習内容	講師
1	12月 3日（日） 9：30～ 12：00	「佐倉竹芸保存会」の概要説明とパワーポイントを使った「竹」の特性に関する講義、グループ分けをして「握り籠づくり」の工作体験、保存会メンバーの作品展示	佐倉竹芸保存会

④講座を終えて 参加者はキャンセル等もあり24人で実施、50、60歳代の参加者が多かった。本事業は3年目を迎え、講師の指導方法に無駄がなく、スムーズに事業を進めることが出来た。

アンケート結果を見ても参加者の満足度は高く、ほぼ全員が伝統工芸に関心を持ったことは大きな成果であったと思われる。材料の不具合で満足度のいく体験が出来なかった方がおり、自然素材を使った事業の難しさを感じた。なお、指導者の竹芸保存会にとっても、会員のスキルアップにつながっており、伝統工芸の継承に寄与していると思われる。

4. 高齢者教育事業

四年制高齢者大学校「佐倉市民カレッジ」

1. 開設までの経緯

中央公民館では、年々増加する高齢者が、社会の変化とともに歩み、自己の能力を伸ばし社会活動へ参加し充実した生き方ができるよう、昭和53年5月に「佐倉市高齢者短期大学校」(以下短大)を開設した。短大が数年経過すると学生の学習意欲が高まり、卒業した学生からさらに学びたいという希望が生まれ、短大6期生より自主的に2年間の学習を行う「生きがい学園」が誕生した。また、短大生たちの中で4年間続けて学ぶことの意義が認識され、短大の学習内容のひとつである「市長への提言」にて「高齢者のための四年制の大学校の設置」という提言がなされた。そして、公民館運営審議会委員、福祉関係有識者、短大卒業生を含めた「高齢者の望ましい姿を考える会」が発足し、四年制大学校の設置の概要と方向性として、地域活動の実践、郷土佐倉を愛する心の育成、40歳以上への学習機会の提供などが示された。

このような経緯を踏まえて、公民館棟に接続して四年制大学校の専用校舎を建設し、「佐倉市民カレッジ」という名称のもと平成4年5月に開設した。初年度は40歳以上60歳未満の20人を含む第1学年100人、短大の卒業生が編入した第3学年96人の2つの学年によりスタートした。そして、平成5年度より新1年生と短大の編入生である新3年生を含めた4学年が揃い、本格的な四年制大学校としての歩みを始めた。

2. 開設の趣旨

佐倉市民カレッジは、高齢化社会（現在は超高齢社会）の中で、市民が健康で生きがいを持ち、地域との連携をもちながら住みよいまちづくりを考え、実践をととして生涯学習のできる場となるよう開設されている。

また、佐倉市民カレッジ（以下、市民カレッジという。）では高齢者のみならず、高齢準備期である40歳代からの人にも学習の機会を提供し、高齢者と互いに学び、支え合うことを大切なねらいとしている。

3. 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後について

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したが、以下の取り組みは継続して行った。

- ・入学定員の減少（100名から80名に）
- ・感染防止等の事情のために来館できない生徒のため、期間を限定し、授業を佐倉市民カレッジ掲示板ウェブサイト上で動画配信する。生徒は動画を視聴し、自己申告取得単位報告書を当館に提出することで単位を取得できるようにした。
- ・1日の授業時間を午前または午後の半日を基本とする。
- ・入学式・始業式及び卒業式・修了式を学年毎に分散開催

4. 入学対象・定員

(1) 入学対象者

- ①佐倉市に在住する40歳以上で、4年間継続して通学できる人
- ②積極的に自主学習ができる人
- ③卒業後は地域活動に積極的に参加できる人

(2) 定員：下記のとおり（先着順）

なお、令和5年度の応募・入学状況は以下のとおりである。

募集学年	募集定員	応募数	入学者数
第1学年	40歳以上 80人	74人	72人

※令和5年度の学生数

学 年	クラス コース	入学・進級者		修了・卒業者	
		人 数	小 計	人 数	小 計
第1学年	1 組	36	72	32	66
	2 組	36		34	
第2学年	1 組	25	47	25	47
	2 組	22		22	
第3学年	福 祉	12	55	12	55
	歴 史	17		17	
	情 報	13		13	
	元 気	13		13	
第4学年	福 祉	18	65	18	65
	歴 史	17		17	
	情 報	17		17	
	元 気	13		13	
計			239		233

5. 佐倉市民カレッジの学習内容

(1) 「であい課程」の学習

市民カレッジの学習期間は4年間であるが、その前半の2年間は「であい課程」である。主に一般教養として、佐倉の歴史、文化、健康、家庭、生きがい、法律、環境、市政、福祉、経済等の広い分野を学び、共に学ぶ仲間をつくる。また、「であい課程」では、今までの生活になかった自分とであい、仲間とであい、地域とであう中で、新たな生きがいを見つけることを学習のねらいとしている。

「であい課程」2年間の学習日数は約60日に及ぶ。その学習形態は講義形式のほか、話し合い、身近な公共施設などについて学ぶ市内めぐり、いくつかのグループに分かれ、テーマを設定してその内容について討議し、代表者が発表するグループ発表、また個人発表、健康運動などの実習などと様々である。このほか、学生が自ら考え、自己責任において行う地域活動の自己申告取得単位制度を設けている。

「であい課程」1年では、「私の生きがい」をどのようなものに求めているか、何が生きがいになっているのか等自分の生きがいについて考え、お互いに発表し合って相互理解を深め、文集「私の生きがい」にまとめる課題がある。

2年の「市政を学ぶ」の学習テーマでは、実際に市政に携わっている市役所の職員等を講師として招き、市民公益活動の推進、基本計画と財政、環境と環境保全、福祉と健康、教育施策「佐倉学」等について学習する。それをもとに、個々に自分の考えるまちづくり構想をもち、各グループに分かれて実践活動を行い、その成果を「まちづくり実践報告会」で発表した。

一連の学習の過程で、個々に市政についての理解を深めるのが大きなねらいである。

(2) 「専攻課程」の学習

3年生からの「専攻課程」では、講義と実践をとおして、卒業後も地域で生き生きと活動ができるようになることを目標として設置している。

また、地域活動をすることで単位を取得する自己申告取得単位制度を設け、学生が自主的に学習できる体制を整えている。

「専攻課程」には4つのコースを設けている。学習日数は2年間で40日程度である。コースの名称は「あったか福祉コース」「ふるさと歴史コース」「さわやか情報コース」「ゆっくり元気コース」である。

①「あったか福祉コース」

社会福祉全般の理論の学習や実習を通して、福祉活動を考え実践できることを主眼としている。3年生では、障害福祉、高齢者福祉、福祉サービスなどの福祉全般に関する知識や、車いすの操作方法、視覚障害者の歩行誘導などの障害者との基本的な接し方を学ぶ。

4年生では3年生時の学習に加え、講義で福祉関連の知識を広げるとともに、傾聴の実習や、自分たちが学んだ介護技術を他コースの生徒に教える「学び合い学習」で、実践的な学習にも取り組んでいる。

「傾聴」をテーマとした学習は「他を認める」「話を聞く」「話をする」という、人と人の交流の基本を学び、人が地域社会を構成していく中で必要な「コミュニティ」形成の原点を学ぶことである。これは市民カレッジ学習の基本である「地域づくり」を根本から学んでいくことにつながると考える。

②「ふるさと歴史コース」

郷土佐倉の歴史、先覚者、歴史的町並みについて学び、郷土佐倉を愛する心を育んでいく。その内容は講義形式の授業を受けるだけではなく、自主的にテーマを設定して研究レポートを作成し、発表する主体的な学習を行っており、さらに、今後の地域活動につながるよう、他コースに佐倉の史跡を案内して教えるという「学び合い学習」を行っている。

現在、卒業生による「歴史ボランティア」グループが結成されており、歴史コースでの史跡散策案内や学習補助をボランティアで行っている。

③「さわやか情報コース」

デジタルデバイスと言われる情報格差を埋めると同時に、デジタル技術を使用した情報発信を学ぶことで地域の情報の共有化を進めることを目的として、様々な学習を行っている。

情報化社会一般の現状についての講義を聴くほか、情報を伝達する機器を利用して、自主的に地域活動ができるようになるために、3年生では基礎からのパソコンやスマートフォンの実習や、動画を使った情報発信、4年生ではパソコンの学習成果を活かした実習を行っている。また、地域活動における名簿作りや、会計資料作成に役立つように表計算ソフトの講義も行っている。また学習日以外の、パソコン自主学習も盛んである。

④「ゆっくり元気コース」

自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習をとおして行う。3年生では「歩くこと」を健康づくりの基本と考え、ウォークラリーのコースをカレッジ生が自主的に作成する。作成されたコースが市民カレッジや地域の行事に活用されることにより市民カレッジ生の地域参画が期待される。その他、生活習慣病に対する理解と予防、フレイル予防などについて学ぶ。さらに、太極拳やヨガなどの実習をとおして、自分に合った健康づくりを発見する。

4年生では、実践活動と今までの主体的な学習の過程や成果を通じて健康の維持と地域活動への導入を図る。また、各種スポーツイベントに参加し、多様な健康づくり、レクリエーション等への理解を深めるとともに事業の企画運営を考察する。そのほか、健康づくりに関する今後の自分たちの活動について話し合う学習も行っている。

「専攻課程」の学習のまとめとして、それぞれのコースで学習したことを他に伝え・教えることで「学び」を一層深めていく時間として「学び合い学習」を行った。

また「学んだことを活かす」というテーマでそれぞれのコース内で個人発表や話し合いを行い、そして、各コースの代表者による意見発表が行われた。

カレッジでの学習成果や、現在自分が行っている地域活動を紹介する中で、今後の自分の高齢者としての生き方について、長年蓄積した豊かな知識と経験から意見を発表する。それをいかに実践していくかが、市民カレッジを卒業してからの課題となる。

6. 佐倉市民カレッジの学習の特色

市民カレッジでは、学習の質を高め、より専門的な学習を行っていくために、他の機関・施設の協力を得て学習を展開している。国立歴史民俗博物館、千葉地方検察庁、佐倉警察署、千葉県立中央博物館、広域高速ネット296、順天堂大学、NPOニッポンランナーズ、東京情報大学、福祉施設などから講師派遣の協力をいただいている。

また、これらを含めた令和5年度の主な校外学習は、以下のとおりである。

○校外学習

1 学年	5 月 3 0 日		1 年生歓迎ウォークラリー 坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く
	7 月 4 日	1 組	地域活動の実践者に学ぶ（現地視察）
	7 月 1 1 日	2 組	
3 学年	1 2 月 7 日	福祉	福祉施設（佐倉白翠園）訪問
	5 月 2 5 日	歴史	大佐倉の歴史散策
	6 月 2 2 日	歴史	臼井の歴史散策
	9 月 1 4 日	歴史	成田山の歴史を学ぶ
	1 0 月 1 2 日	歴史	佐倉地区の歴史散策
	1 0 月 1 9 日	歴史	志津の歴史散策
	1 月 1 1 日	歴史	七福神巡り
4 学年	6 月 2 1 日	福祉	木の宮学園施設見学
	5 月 3 1 日	歴史	夢咲くら館及び塚本美術館見学
	6 月 1 4 日	歴史	新町の歴史散策
	6 月 2 8 日	歴史	佐原のまちづくりを学ぶ
	6 月 2 8 日	情報	国会図書館見学
	5 月 3 0 日	元気	1 年生歓迎ウォークラリー 坂道・小径をたどり城下町佐倉を歩く
	1 2 月 6 日	元気	ノルディック・ウォーク

7. 令和5年度の主な行事

（1）入学式・始業式

入学式・始業式は、分散し学年ごとに行った。

入学式は5月9日（火）に行われ、72人の新入生が晴れの日を迎えた。

佐倉市長・西田三十五総長から「新入生の皆様は、これから始まる4年間の学習、活動、新たな仲間との出会いへの期待に大きく胸を膨らませていらっしゃるものと存じます。

佐倉市民カレッジの建学の精神は「為すことによって学び、学ぶことによってお互いを高めあい、他に尽くす」こととございます。皆様には、佐倉市民カレッジ第三十一期生として、四年間、佐倉の歴史、自然、文化など郷土（きょうど）について学ぶほか、地域や社会の課題となっている分野などについても、多くの知識を習得していただければ幸いです。」

（抜粋）との祝辞をいただいた。続いて、在校生から「歓迎の言葉」が新入生に贈られ、これを受けて新入生は「入学の言葉」を話した。

始業式は5月10日（水）に4年生、11日（木）に3年生、12日（金）に2年生について行われた。

（2）佐倉市民カレッジ文化祭

例年、11月上旬～中旬に、カレッジ生による実行委員会を中心に、多くの方々が交流と親睦を深める「佐倉市民カレッジ文化祭」が開催されている。

今年度は、文化祭を11月8日（水）～10日（金）に開催した。昨年に引き続き、大ホールにて生徒や卒業生が制作した作品を展示する「展示の部」と、学習室3にて研究や活動の成果を発表する「研究・活動発表の部」を実施し、1階ロビーでは「チャリティバザーの部」を実施した。チャリティバザーでは売り上げが10万円を超え、佐倉

市社会福祉協議会に全額を寄付した。また、展示作品、研究発表は、それぞれに万感の思いが込められた力作揃いであった。

(3) 「まちづくり実践報告会」(2年)

2年生は、私たちの考えるまちづくりについて、行動の為の具体策を話し合い「まちづくり実践報告会」を実施した。この学習は、カレッジ生個々の市政に対する学習の取り組みを重視する形を取り、市政の学習を基に自分ならこのようなビジョンを持つと個々に考えをまとめ、その後に課題意識を同じくする仲間グループ(課題部門別)を形成し、各グループ別に調査研究、討議を重ねた内容を実践し、それらの実践活動を、令和6年1月19日(金)に1・2年合同の学習形態で、西田三十五総長を迎えて、代表者による発表を行った。

発表したグループは、「佐倉吹き矢の会30」「サクラ・クリーン30」「タイムトリップ佐倉30」「城址公園・美化し隊30」の4グループであった。

(4) 卒業式・修了式

入学式・始業式と同様に、学年ごとに行った。

卒業式は2月7日(水)に行われ、皆勤者10人を含む佐倉市民カレッジ第28期生65人が、今後の活躍を胸に秘めながら卒業証書を手にした。

西田三十五総長は、「皆様は、新型コロナウイルス感染症による休校期間を含め5年間、健康に留意されながら、学習活動を継続してこられました。コロナ禍の試練を乗り越え、無事学業を修了されましたことは、皆様の人生にとりまして大きな意味を持つものと存じます。今日の喜びを学友同士で分かち合うだけでなく、カレッジ生活を支えてくださったご家族にも、ぜひ、感謝の気持ちを伝えたいと思います。市民カレッジの建学の精神は、「為すことによって学び、学ぶことによりお互いを高めあい、他に尽くす」でございます。卒業後も、縁あって出会った多くの仲間と共に力を合わせ、日々充実した思いを持ち、益々ご活躍されますことをご期待申し上げます。」(抜粋)との言葉を述べた。

修了式は2月6日(火)に1年生、8日(木)に3年生、9日(金)に2年生について行われた。

8. 佐倉市民カレッジ生の課外活動

カレッジ生は自主的に団体を結成し、学習日以外にも積極的に活動している。日頃の学習とは異なり、趣味を深める活動、ボランティア活動及び地域活動など多岐にわたる。卒業生と現役カレッジ生と一緒に活動している団体もあり、その多くは、任意団体であるが、中には特定非営利活動法人もある。

中央公民館では、カレッジ園芸が、異学年や卒業生と交流を深めつつ、公民館周辺の花壇の管理、環境美化をボランティア活動として行っている。四季折々の花が来館者の目を楽しませている。

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第1学年学習予定表（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.9 (火)		*		式典	入学式・カレッジ概要	総長 館長
2	5.16 (火)	オリエンテーション	ホームルーム・ 自己紹介・役員選出等				社会教育指導員
3	5.23 (火)	健康づくり (1)	ホームルーム (文化祭に向けてなど)				社会教育指導員 元気コース4年生ほか
4	5.30 (火)	生涯学習の 楽しさ (1)	ウォークラリー 坂道・小径をたどり 城下町佐倉を歩く				社会教育指導員
5	6.6 (火)	地域を知る (1)	各地区の成り立ち 佐倉の歴史概要	文化課		*	
6	6.13 (火)	地域活動 (1)	自治会等の役割と 市民協働について	自治人権推進課		*	
7	6.20 (火)		*		自然と環境 (1)	水環境と人間生活	元印旛沼環境基金 上席研究員 本橋 敬之助
8	6.27 (火)	社会福祉 (1)	佐倉市の地域福祉	佐倉市社会福祉 協議会		*	
9	7.4 (火)	地域を知る (2)	1組：地域の実践者に学ぶ（現地視察）				社会教育指導員
		私の生きがい (1)	2組：私の生きがい	社会教育指導員		*	
10	7.11 (火)	私の生きがい (1)	1組：私の生きがい	社会教育指導員		*	
		地域を知る (2)	2組：地域の実践者に学ぶ（現地視察）				社会教育指導員
11	9.5 (火)	私の生きがい (2)	私の生きがい発表	社会教育指導員		*	
12	9.12 (火)	芸術と文化 (1)	房総ゆかりの作家 波の伊八と葛飾北斎	筑波大学名誉教授 齊藤 泰嘉		*	
13	9.19 (火)	世代間交流 (1)	絆を引き継ぐ 世代間交流	東京都健康長寿医療 センター研究所 非常勤研究員 高橋 知也		*	
14	9.26 (火)	地域活動 (2)	佐原まちぐるみ 博物館に学ぶ	佐原 おかみさん会		*	
15	10.3 (火)	世代間交流 (2)	世代間交流 に向けて①	社会教育指導員	健康づくり (2)	楽しみながらできる 健康づくり	順天堂大学 名誉教授 武井 正子
16	10.11 (水)	自然と環境 (2)	里山の生態	東京情報大学 名誉教授 原 慶太郎		*	

令和５年度 佐倉市民カレッジ 第１学年学習予定表（２）

学習時間		午前９時４５分～１１時４５分			午後１時１０分～３時１０分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.17 (火)	世代間交流 (3)	世代間交流② 小学生との 交流に向けて				社会教育指導員
18	10.24 (火)	市政を学ぶ (1)	公園活用について	公園緑地課		*	
19	11.8 (水)～ 11.10 (金)	カレッジ合同 生涯学習の 楽しさ (2)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8 (水)～10 (金) 大ホール、学習室 3 他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
20	11.14 (火)	人権 (1)	男女平等参画について	城西国際大学 国際人文学部 国際文化学科准教授 遠藤 恵子		*	
21	11.21 (火)		*		世代間交流 (4)	世代間交流③ 小学生との 交流に向けて 事前準備	社会教育指導員
22	11.28 (火)		*		健康づくり (3)	ユニカール体験	佐倉ユニカール29
23	12.5 (火)	世代間交流 (5)	世代間交流④ 小学生との交流 市内小学校での体験	佐倉小学校 社会教育指導員	世代間交流 (6)	世代間交流⑤ 小学生との交流 振り返り	社会教育指導員
24	12.12 (火)		*		国際 (1)	今年の国際情勢	敬愛大学 国際学部教授 水口 章
25	12.19 (火)	地域を知る (3)	佐倉市の農業	農政課		*	
26	1.9 (火)	自然と環境 (3)	特定外来生物の 生態や現状と課題	千葉県 生物多様性 センター		*	
27	1.19 (金)	1・2年合同 地域活動 (3)	2年生のまちづくり 実践報告を聞く	社会教育指導員		*	
28	1.23 (火)	社会福祉 (2)	高齢社会を どう生きるか ー少子高齢社会の 日本の課題ー	聖徳大学教授 川口 一美		*	
29	1.30 (火)	地域を知る (4)	佐倉市の観光/シルバー人 材センターについて	佐倉の魅力推進課/ シルバー人材 センター		*	
30	2.6 (火)		*		式典	2年生に向けて・ 修了式	館長 社会教育指導員

令和５年度 佐倉市民カレッジ 第２学年学習予定表（１）

学習時間		午前９時４５分～１１時４５分			午後１時１０分～３時１０分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.12 (金)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.19 (金)	まちづくり (1)	私たちのまちづくり①	社会教育指導員		*	
3	5.26 (金)	地域活動 (1)	まちづくり活動 実践者の発表	カレッジ生・卒業生	まちづくり (2)	私たちの まちづくり②	社会教育指導員
4	6.2 (金)	社会福祉 (1)	地域福祉とは	順天堂大学スポーツ 健康科学部 先任准教授 松山 毅		*	
5	6.9 (金)	地域活動 (2)	まちづくりと まちの居場所	千葉大学大学院 准教授 森永 良丙		*	
6	6.16 (金)	まちづくり (3)	私たちのまちづくり③				社会教育指導員
7	6.23 (金)	佐倉の歴史 (1)	原始古代の佐倉	文化課	家庭と法律 (1)	身近な法律知識 訴訟と人権	弁護士 法政大学法科大学院教授 高須 順一
8	6.30 (金)	佐倉の教育(1)	佐倉学について	佐倉市史編さん委員 内田 儀久		*	
9	7.7 (金)	まちづくり (4)	私たちのまちづくり④	社会教育指導員		*	
10	7.14 (金)	市政を学ぶ (1)	佐倉市の災害対策	危機管理課		*	
11	9.1 (金)	佐倉の歴史 (2)	絵図から見た 城下町佐倉	國學院大學 准教授 川名 禎		*	
12	9.8 (金)	地域活動 (3)	社会生活と ボランティア活動	神奈川大学 教授 齊藤 ゆか	まちづくり (5)	私たちのまちづくり⑤ (台風のため中止)	社会教育指導員
13	9.15 (金)	家庭と法律 (2)	裁判員制度について	千葉地方検察庁	情報社会 (1)	人工知能 ～コンピュータに できること できないこと～	東京情報大学 教授 マッキン・ ケネスジェームス
14	9.18 (月・ 祝)	情報社会 (2)	その情報はどこから？ ネット時代の情報選別力	ジャーナリスト 猪谷 千香		*	
15	9.22 (金)	佐倉の歴史 (3)	お札の歴史と新券の発行	お札と切手の博物館 学芸員 松村 記代子		*	
16	10.6 (金)	まちづくり (6)	私たちのまちづくり⑥	社会教育指導員		*	

令和５年度 佐倉市民カレッジ 第２学年学習予定表（２）

学習時間		午前９時４５分～１１時４５分			午後１時１０分～３時１０分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
17	10.13 (金)		*		健康づくり (1)	こころサポーター (ゲートキーパー) 養成研修	聖マリアンナ医科大学 神経精神科研究員 日本大学非常勤講師 田口 学
18	10.20 (金)	市政を学ぶ (2)	高齢者福祉の 取り組みと認知症	高齢者福祉課		*	
19	10.27 (金)	まちづくり (7)	私たちのまちづくり⑦	社会教育指導員		*	
20	11.8 (水)～ 11.10 (金)	生涯学習の 楽しさ (1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8 (水)～10 (金) 大ホール、学習室3他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
21	11.17 (金)	佐倉の歴史 (4)	佐倉の明治維新	成田山霊光館 学芸員 矢嶋 毅之		*	
22	11.24 (金)	まちづくり (8)	私たちのまちづくり⑧	社会教育指導員		*	
23	12.1 (金)		*		専攻課程の 学習	専攻課程の学習に 向けて 4年生コース代表説明	4年生コース代表
24	12.8 (金)	自然と環境 (1)	河川湖沼の 水辺環境と 水質浄化の考え方	一般財団法人 千葉県環境財団 岩井 久美子		*	
25	12.15 (金)	まちづくり (9)	私たちのまちづくり⑨	社会教育指導員		*	
26	1.12 (金)	まちづくり (10)	私たちのまちづくり 実践報告に向けて	社会教育指導員		*	
27	1・2 年合同 1.19 (金)	まちづくり (11)	私たちのまちづくり 実践報告	総長		*	
28	1.26 (金)	市政を学ぶ (3)	佐倉市の空き家対策	住宅課		*	
29	2.2 (金)	佐倉の歴史 (5)	平成の佐倉市と カレッジ史	佐倉市史編さん委員 内田 儀久		*	
30	2.9 (金)	式典	3年生に向けて／ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (木)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.18 (木)	オリエンテーション	コース概要	社会教育指導員 27期福祉コース 卒業生		*	
3	5.25 (木)		*		福祉サービス (1)	福祉サービス提供の 基本視点	社会福祉法人誠友会 理事長 竹内 淳
4	6.1 (木)	健康づくり (1)	自力整体と笑いヨガ	自力整体 ナビゲーター 秋田 美智子		*	
5	6.8 (木)	介護演習 (1)	車椅子の種類・構造、 介助方法について	佐倉ホワイエ	ボランティア 活動の実践に 向けて (1)	福祉施設交流に向けて	社会教育指導員
6	6.13 (火)		*		障害福祉 (1)	障害者(児)福祉制度 の概要とサービス内容	NPO法人 千葉市 視覚障害者協会 理事長 高梨 憲司
7	7.13 (木)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
8	8.31 (木)	子育て支援(1)	佐倉市民による子育て支 援参加の可能性	千葉敬愛短期 大学教授 吉村 真理子		*	
9	9.7 (木)	障害福祉 (2)	視覚障害を理解する	千葉県立 千葉盲学校		*	
10	9.21 (木)	介護演習 (2)	介護技術の基礎 (食事介助)	佐倉白翠園		*	
11	9.28 (木)	福祉サービス (2)	介護保険制度の概要と サービス内容	介護保険課		*	

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.12 (木)	生活と健康 (1)	高齢者に多い 疾患の基礎知識と 予防・対処方法	佐倉白翠園 看護長 後田 恵子		*	
13	10.19 (木)	福祉サービス (3)	地域包括支援センター について	佐倉市佐倉地域 包括支援センター		*	
14	10.26 (木)	ボランティア活動の 実践に向けて (2)	聴く技術	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上 規后子		*	
15	11.8 (水)～ 11.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭 研究発表、作品展示 11.8(水)～10(金) 大ホール、学習室3他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
16	11.16 (木)	ボランティア活動の 実践に向けて (3)	福祉施設交流に向けて (動画視聴)	社会教育指導員		*	
17	11.30 (木)	生活と健康 (2)	高齢期の栄養と 食生活のあり方				栄養士 六崎 美知代
18	12.7 (木)	介護演習 (3)	移乗動作と 歩行介助	佐倉ホワイエ	ボランティア活動の 実践に向けて (4)	福祉施設訪問	佐倉白翠園
19	12.21 (木)		*		3年福祉元気 合同 生活と健康 (3)	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝 尚志
20	1.18 (木)	障害福祉 (3)	聴覚障害を理解する	障害福祉課 佐倉市ろう者協会、 特定非営利活動法人 千葉県中途失聴者・ 難聴者協会		*	
21	1.25 (木)		*		子育て支援(2)	子どもの貧困について	千葉県スクール ソーシャル ワーカー 飯野 弥生
22	2.8 (木)	式典	4年生に向けて／ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和５年度 佐倉市民カレッジ 第３学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（１）

学習時間		午前９時４５分～１１時４５分			午後１時１０分～３時１０分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (木)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.18 (木)		*		佐倉市の歴史 (1)	古文書を読む楽しみ	年寄部屋日記を 読む会会長 小島 大作
3	5.25 (木)	歴史散策 (1)	大佐倉の歴史散策 集合９時２０分 京成大佐倉駅改札口外	NPO法人 佐倉一里塚		*	
4	6.8 (木)	佐倉市の歴史 (2)	中世佐倉の道	東金市文化財審議会 会長 市文化財審議委員会 副委員長 遠山 成一		*	
5	6.15 (木)	佐倉市の歴史 (3)	佐藤泰然と 佐倉順天堂	文化課		*	
6	6.22 (木)	歴史散策 (2)	臼井の歴史散策 集合９時２０分 京成臼井駅北口下	臼井の案内人 滑川 洋子		*	
7	7.6 (木)	佐倉市の歴史 (4)	佐倉藩士と沼津兵学校	国立歴史民俗博物館 教授 樋口 雄彦		*	
8	7.13 (木)	４コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
9	9.7 (木)	佐倉市の歴史 (5)	本佐倉城跡と臼井城跡の 発掘成果と 東国の戦国時代	国立歴史民俗博物館 名誉教授 小野 正敏		*	
10	9.14 (木)	日本遺産 町並み散策	【日本遺産北総四都市 江戸紀行】 成田山の歴史を学ぶ 午前１０時１０分ＪＲ成田駅改札口外集合				成田山靈光館 矢嶋 毅之
11	10.5 (木)	佐倉市の歴史 (6)	佐倉城下町の 祭礼文化について	祭礼文化研究家 鶴岡 勝人		*	

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.12 (木)	歴史散策 (3)	佐倉地区(城址公園)の歴史散策 9時45分市民体育館集合				NPO法人 佐倉一里塚
13	10.19 (木)	歴史散策 (4)	志津の歴史散策 9時45分 ユーカリが 丘線中学校駅集合	NPO法人 佐倉一里塚		*	
14	11.2 (木)	郷土の先覚者 (1)	浅井忠と 佐倉ゆかりの芸術家	佐倉市立美術館		*	
15	11.8 (水)～ 11.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8(水)～10(金) 大ホール、学習室3他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
16	11.16 (木)	佐倉市の歴史 (7)	佐倉牧	市文化財審議委員 立教大学兼任講師 國學院大学兼任講師 高見澤 美紀		*	
17	11.30 (木)	佐倉市の歴史 (8)	古今佐倉真佐子に ついて	佐倉市史編さん委員 外山 信司		*	
18	12.14 (木)	佐倉市の歴史 (9)	佐倉の歴史的建築物	市文化財審議委員、 国立歴史民俗博物館 名誉教授 濱島 正士		*	
19	1.11 (木)	佐倉市の歴史 (10)	中世佐倉の鹿島郷	酒々井町 文化財審議会会長 高橋 健一	歴史散策 (5)	七福神巡り	社会教育指導員
20	1.18 (木)	郷土の先覚者 (2)	津田仙 近代農業のさきがけ	津田仙の曾孫 津田 道夫		*	
21	1.25 (木)	歴史コースの まとめに向けて	カレッジ生が 取り組みたい 研究テーマ (各自発表)	市史編さん委員 内田 儀久		*	
22	2.8 (木)	式典	4年生に向けて/ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (木)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.18 (木)	オリエンテーション	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		*	
3	6.1 (木)	情報伝達の技術 (1)	スマホ講座	シルバー 人材センター		*	
4	6.8 (木)	情報化時代の 学習 (1)	インターネットと 生きる 『信じ方の癖、 伝え方の鍵』	合同会社環賢堂 代表社員 玉木 勝		*	
5	6.15 (木)	情報化時代の 学習 (2)	情報化社会と著作権	(一社)コンピュータソフトウェア 著作権協会 専務理事 久保田 裕		*	
6	6.22 (木)	課題学習 (1)	マイクロツリーズ 手書き地図をつくる①	社会教育指導員		*	
7	7.6 (木)	課題学習 (2)	マイクロツリーズ 手書き地図をつくる②	社会教育指導員		*	
8	7.13 (木)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
9	9.7 (木)	情報伝達の技術 (2)	ワード①	26期・27期 情報コース 卒業生有志	情報伝達の技術 (3)	ワード②	26期・27期 情報コース 卒業生有志
10	9.14 (木)	情報化時代の 学習 (3)	(仮) ネット情報に おぼれない学び方	「ネット情報に おぼれない学び方」 著者 梅澤 貴典		*	
11	9.21 (木)	情報化社会の 学習 (1)	ウィキペディアタウン ①	海獺	情報化社会の 学習 (2)	ウィキペディアタウン ②	海獺

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.5 (木)	情報伝達の技術 (4)	(仮)まちづくりとSNS	ジェイ・ドック・ カンパニー代表 影山 貴大		*	
13	10.12 (木)		*		情報化時代の 学習 (4)	インターネット ウィルスの歴史	東京情報大学 准教授 岸本 頼紀
14	10.26 (木)	情報化時代の 学習 (5)	インターネット活用術①	株式会社 教育システム 本間 達哉		*	
15	11.2 (木)	課題学習 (3)	マイクロツリーズ 手書き地図をつくる③	社会教育指導員		*	
16	11.8 (水)～ 11.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8(水)～10(金) 大ホール、学習室3他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
17	11.16 (木)		*		情報化時代の 学習 (6)	おカネとITの 経営戦略	東京情報大学 准教授 樋口 大輔
18	12.14 (木)	課題学習 (4)	マイクロツリーズ 手書き地図をつくる④	社会教育指導員		*	
19	1.11 (木)	課題学習 (5)	マイクロツリーズ 手書き地図をつくる⑤	社会教育指導員		*	
20	1.18 (木)	情報伝達の技術 (5)	パワポを教えよう①	26期・27期 情報コース 卒業生有志		*	
21	1.25 (木)	情報伝達の技術 (6)	パワポを教えよう②	26期・27期 情報コース 卒業生有志	情報伝達の技術 (7)	パワポを教えよう③	26期・27期 情報コース 卒業生有志
22	2.8 (木)	式典	4年生に向けて／ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.11 (木)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.18 (木)	オリエンテーション	ホームルーム・ コース概要	社会教育指導員		*	
3	5.25 (木)	課題学習 (1)	ウォークラリー コースを作ろう①				社会教育指導員
4	6.1 (木)	生活と健康 (1)	熱中症予防と水分補給 ～暑さに向かって～	NPOニッポン ランナーズ ランニングコーチ 中田 修弘		*	
5	6.8 (木)	課題学習 (2)	ウォークラリー コースを作ろう②	社会教育指導員		*	
6	6.22 (木)	生活と健康 (2)	チームワークを考える	順天堂大学 スポーツ健康科学部 教授 水野 基樹		*	
7	6.29 (木)	地域活動 (1)	レクリエーション	日本レクリエーション 協会公認レクリエー ションコーディネー ター 介護福祉士 田端 知恵子		*	
8	7.13 (木)	4コース合同 講演会	過去の災害から学ぶ 防災対策 -私たちにできること-	防災コミュニティ ネットワーク代表 青木 信夫		*	
9	9.7 (木)	健康づくり (1)	太極拳 静かな動きを 体験しよう	佐倉太極拳同好会 嶋田 桂子 服部 陽子		*	
10	9.21 (木)	病理と予防 (1)	高齢期の健康法	順天堂大学 名誉教授 武井 正子		*	
11	9.28 (木)	健康づくり (2)	フレイル予防講座①	明治安田生命		*	

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第3学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.13 (金)	健康づくり (3)	タオルで簡単 ストレッチ	インストラクター 関根 美和		*	
13	10.19 (木)	健康づくり (4)	フレイル予防講座②	明治安田生命		*	
14	10.26 (木)	課題学習 (3)	ウォークラリー コースを作ろう③				社会教育指導員
15	11.8 (水)～ 11.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8(水)～10(金) 大ホール、学習室3他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
16	11.15 (水)	病理と予防 (2)	体組成測定と 健康づくり (3年元気4年元気 合同)	健康推進課		*	
17	11.30 (木)	生活と健康 (3)	薬と生活習慣	(株) 健栄		*	
18	12.14 (木)	課題学習 (4)	ウォークラリー コースを作ろう④	社会教育指導員		*	
19	12.21 (木)		*		3年福祉元気 合同 生活と健康 (4)	噛む喜びと 食べることの意義	歯学博士 鳩貝 尚志
20	1.18 (木)	生涯学習の 楽しさ(2)	歓迎ウォークラリー に向けて①	社会教育指導員		*	
21	1.25 (木)	生涯学習の 楽しさ(3)	歓迎ウォークラリー に向けて②				社会教育指導員
22	2.8 (木)	式典	4年生に向けて／ 修了式	館長 社会教育指導員		*	

令和５年度 佐倉市民カレッジ 第４学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（１）

学習時間		午前 9 時 4 5 分～ 1 1 時 4 5 分			午後 1 時 1 0 分～ 3 時 1 0 分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5. 10 (水)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5. 17 (水)	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
3	5. 31 (水)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		*	
4	6. 7 (水)	ボランティア活動の 実践に向けて (1)	ボランティア活動への 心構え	佐倉白翠園		*	
5	6. 14 (水)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
6	6. 21 (水)	障害福祉 (1)	知的障害の特性 木の宮学園施設見学	木の宮学園		*	
7	6. 28 (水)	福祉サービス (1)	介護のデジタル化	佐倉ゆうゆうの里 施設長 田中 寿之		*	
8	7. 5 (水)	4 コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良 直美		*	
9	7. 12 (水)	健康づくり (1)	元気なうちから始める 介護予防	高齢者福祉課		*	
10	9. 6 (水)		*		自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員
11	9. 14 (木)	2 コース合同 体験学習	草ぶえの丘で 陶芸を楽しむ 集合 午前 9 時 3 0 分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
12	9. 20 (水)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		*	

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 あったか福祉コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
13	10. 4 (水)	学び合い学習 (4)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
14	10. 18 (水)	学び合い学習 (6)	情報コースを招待して	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	歴史コースを招待して	社会教育指導員
15	11. 1 (水)	学び合い学習 (8)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	元気コースを招待して	社会教育指導員
16	11. 8 (水)～ 11. 10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11. 8 (水)～10 (金) 大ホール、学習室3他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
17	11. 15 (水)	ボランティア活動の 実践に向けて (2)	こころに触れる生かす カウンセリング	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上 規后子		*	
18	11. 21 (火)	障害福祉 (2)	障がい者とスポーツ	順天堂大学 スポーツ 健康科学部 准教授 渡 正		*	
19	12. 6 (水)	ボランティア活動の 実践に向けて (3)	傾聴心得	東京メンタルヘルス チーフカウンセラー 淵上 規后子		*	
20	1. 10 (水)	学習のまとめ／ ホームルーム	福祉活動の実践に向けて ／卒業に向けて	社会教育指導員		*	
21	1. 17 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員		*	
22	1. 24 (水)	4コース合同 講演会／ ホームルーム	新たな出発／ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会		*	
23	2. 7 (水)		*		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（1）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (水)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.17 (水)	学び合い学習 (1)/自主企 画講座(1)	学び合い学習に向けて① /学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		*	
3	5.31 (水)	施設見学	夢咲くら館及び 塚本美術館見学	社会教育指導員		*	
4	6.14 (水)	日本遺産 町並み散策 (1)	【日本遺産北総四都市 江戸紀行】 新町の歴史散策 10時00分 中央公民館出発	NPO法人 佐倉一里塚		*	
5	6.28 (水)	日本遺産 町並み散策 (2)	【日本遺産北総四都市江戸紀 行】「佐原のまちづくりを学 ぶ」(散策) 集合 午前9 時25分 JR成田駅改札口 の中	NPO法人 小野川と 佐原の町並みを 考える会		*	
6	7.5 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良 直美		*	
7	7.12 (水)	佐倉市の歴史 (1)	幕末明治に海を渡った 佐倉人	市史編さん委員 内田 儀久		*	
8	9.6 (水)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
9	9.21 (木)	2コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と 陶芸を楽しむー卒業記念 作品の制作ー 集合 午前9時30分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
10	9.27 (水)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		*	
11	10.4 (水)	学び合い学習 (4)	元気コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	福祉コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
12	10.18 (水)	学び合い学習 (6)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
13	11.1 (水)	学び合い学習 (8)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	情報コースを招待して 佐倉の史跡案内	社会教育指導員

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 ふるさと歴史コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
14	11.8 (水)～ 11.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8(水)～10(金) 大ホール、学習室3他			市民カレッジ文化祭 実行委員会	
15	11.22 (水)	佐倉市の歴史 (2)	佐倉炭	千葉市立郷土博物館 市史編さん担当 土屋 雅人		*	
16	11.29 (水)	4年歴史情報 合同	これからの博物館で 必要なこと・ 歴博を楽しむ	国立歴史民俗博物館 館長 西谷 大		*	
17	12.1 (金)	佐倉市の歴史 (3)	堀田正倫と 地域の関わり	中央大学文学部 教授 宮間 純一		*	
18	12.13 (水)	自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員		*	
19	12.20 (水)	学習のまとめ①	研究論文の発表 リハーサル	社会教育指導員		*	
20	1.10 (水)		*		学習のまとめ②	研究論文の発表	社会教育指導員 元社会教育指導員 内田 儀久
21	1.17 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員		*	
22	1.24 (水)	4コース合同 講演会／ ホームルーム	新たな出発／ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会		*	
23	2.7 (水)		*		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（１）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5.10 (水)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5.17 (水)	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
3	5.31 (水)	情報伝達の技術 (1)	エクセル①	26期・27期 情報コース 卒業生有志	情報伝達の技術 (2)	エクセル②	26期・27期 情報コース 卒業生有志
4	6.14 (水)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		*	
5	6.28 (水)	情報化時代の 学習 (1)	施設見学	国会図書館ほか		*	
6	7.5 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良 直美		*	
7	7.12 (水)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
8	9.6 (水)	情報化時代の 学習 (2)	映像作品ができるまで	広域高速ネット 296放送制作部 グループ長補佐 平川 裕		*	
9	9.21 (木)	2コース合同 体験学習	草ぶえの丘で自然観察と 陶芸を楽しむ 集合 午前9時30分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
10	9.27 (水)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		*	
11	10.4 (水)	学び合い学習 (4)	福祉コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	元気コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員

令和5年度 佐倉市民カレッジ 第4学年学習予定表

専攻課程 さわやか情報コース（2）

学習時間		午前9時45分～11時45分			午後1時10分～3時10分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.18 (水)	学び合い学習 (6)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	元気コースによる 健康づくり	社会教育指導員
13	11.1 (水)	学び合い学習 (8)	歴史コースを招待して パソコンイベント	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員
14	11.8 (水) ～ 11.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8(水)～10(金) 大ホール、学習室3他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
15	11.15 (水)		*		自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員
16	11.8 (水)～ 11.10 (金)	情報化時代の 学習(3)	ウィキペディア	ウィキペディア 日本語版元管理者 海瀬		*	
17	11.29 (水)	4年歴史情報 合同	これからの博物館で 必要なこと・ 歴博を楽しむ	国立歴史民俗博物館 館長 西谷 大		*	
18	12.8 (金)		*		情報化時代の 学習(4)	千葉食べる通信	編集長 佐藤 謙太
19	1.10 (水)	学習のまとめ／ ホームルーム	振り返り／ 卒業に向けて	社会教育指導員		*	
20	1.17 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員		*	
21	1.24 (水)	4コース合同 講演会／ ホームルーム	新たな出発／ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会		*	
22	2.7 (水)		*		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

令和５年度 佐倉市民カレッジ 第４学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（１）

学習時間		午前９時４５分～１１時４５分			午後１時１０分～３時１０分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
1	5. 10 (水)	式典	始業式・ ホームルーム	館長 社会教育指導員		*	
2	5. 17 (水)	地域活動 (1)	ウォークラリーに向けて	社会教育指導員		*	
3	5. 30 (火)	地域活動 (2)	坂道・小径をたどり 城下町佐倉を歩く (1年ウォークラリー)				社会教育指導員
4	6. 7 (水)	自主企画講座 (1)	学生がテーマを決めて 自主的に学習する①	社会教育指導員		*	
5	6. 14 (水)	地域活動 (3)	楽しい運動と学習を 体験して、体と心の バランスを感じよう	ドクターK アスリートクラブ 井上 将憲		*	
6	7. 5 (水)	4コース合同 生活と文化	文章作成の技術 卒業記念誌作成に 向けて	エッセイスト 高比良 直美		*	
7	7. 12 (水)	学び合い学習 (1)	学び合い学習に向けて ①	社会教育指導員		*	
8	9. 6 (水)	学び合い学習 (2)	学び合い学習に向けて ②	社会教育指導員		*	
9	9. 14 (木)	2コース合同 体験学習	草ぶえの丘で 陶芸を楽しむ 集合 午前９時３０分 草ぶえの丘	草ぶえの丘		*	
10	9. 20 (水)	学び合い学習 (3)	学び合い学習に向けて ③	社会教育指導員		*	
11	10. 4 (水)	学び合い学習 (4)	歴史コースによる 佐倉の史跡案内	社会教育指導員	学び合い学習 (5)	情報コースによる パソコンイベント	社会教育指導員

令和５年度 佐倉市民カレッジ 第４学年学習予定表

専攻課程 ゆっくり元気コース（２）

学習時間		午前９時４５分～１１時４５分			午後１時１０分～３時１０分		
番号	日・曜日	学習テーマ	学習内容	講師	学習テーマ	学習内容	講師
12	10.18 (水)	学び合い学習 (6)	歴史コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (7)	情報コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員
13	11.1 (水)	学び合い学習 (8)	福祉コースを招待して 健康づくり	社会教育指導員	学び合い学習 (9)	福祉コースによる 家庭介護実習	社会教育指導員
14	11.8 (水)～ 11.10 (金)	生涯学習の 楽しさ(1)	市民カレッジ文化祭・研究発表、作品展示 11.8(水)～10(金) 大ホール、学習室3他				市民カレッジ文化祭 実行委員会
15	11.15 (水)	病理と予防 (1)	体組成測定と 健康づくり (3年元気4年元気 合同)	健康推進課		*	
16	11.22 (水)		*		自主企画講座 (2)	自主企画講座実施	社会教育指導員
17	11.8 (水)～ 11.10 (金)	健康づくり (1)	自力整体と笑いヨガ	自力整体 インストラクター 秋田 美智子		*	
18	12.6 (水)		*		地域活動 (4)	ノルディック・ ウォーク	千葉県 ノルディック・ ウォーク連盟
19	1.10 (水)	学習のまとめ／ ホームルーム	卒業後の健康づくり／ 卒業に向けて	社会教育指導員		*	
20	1.17 (水)	4コース合同 学ぶことの 意義	学んだことを活かす ー各コース代表発表ー	社会教育指導員		*	
21	1.24 (水)	4コース合同 講演会／ ホームルーム	新たな出発／ 卒業式練習	佐倉市 社会福祉協議会		*	
22	2.7 (水)		*		カレッジ合同 式典	卒業式	総長 館長

5. 団体育成事業

佐倉地区子ども会育成会連絡協議会

- ①開設趣旨 佐倉地区子連は、佐倉地区の子ども会及び子ども会を取り巻く諸関係機関団体との連絡・調整を図り、各単位子ども会の健全な発展に寄与することを目的として結成された。しかしながら、昨今の少子化、女性の就労に伴い、現在、佐倉地区子連は全ての子ども会が退会し、活動休止となっている。佐倉地区連の備品の貸出は事務局が対応している。

6. 広報事業

ホームページ

- ①ねらい 中央公民館の利用案内・主催事業等を掲載し、情報を提供する。
- ②提供方法 佐倉市ホームページ
URL : <http://www.city.sakura.lg.jp/soshiki/chuokominkan/index.html>
- ③内容 主な掲載内容は以下のとおり。
- ・施設の利用案内
 - ・佐倉市民カレッジ等主催事業の参加者募集
 - ・各年度の『公民館のまとめ』
 - ・佐倉市公民館運営審議会会議録
 - ・視聴覚教材ライブラリーの貸出・使用方法等の案内
- ④展望 SNSの発信により、市の広報紙を見る機会がない方へも、利用案内や主催事業等を、今後も継続して逐次お知らせする。また、自然災害や感染症等の影響を受けた中での開館状況についても、状況の変化に応じ、より速やかに情報を更新する。

SNS

- ①ねらい
- 1 若年層や公民館を認知していなかった方たちに情報を届ける。
 - 2 予約不要・無料のスペースの情報を発信し、活用を図る。
 - 3 予約開始日や開館時間などの施設情報を発信し、利用者の利便性向上を目指す。
 - 4 中央公民館を利用しているサークルの新規会員募集やイベント周知の支援を行い、中央公民館を利用する団体を増やしていく。
- ②提供方法 ツイッターとフェイスブック
ツイッターアカウント名 : @sakura_chuokou
フェイスブック :
https://www.facebook.com/sakura.chuo.kouminkan/?modal=admin_todo_tour
- ③内容 投稿は、写真他短いテキスト(ツイッターでは140字以内)で作られた記事を、インターネットを使ってSNSページに投稿することにより行う。
- 【主な投稿内容】
- ・公民館のルールや部屋の紹介
 - ・主催イベントの周知、イベントの活動報告
 - ・定期利用申込受付日、2カ月前及び1か月前申し込み日、4カ月前先行予約日の周知
 - ・当館のなかでの出来事
 - ・市民カレッジ活動紹介
 - ・新型コロナウイルスの感染状況による開館状況に関する情報
- ④展望 佐倉市立中央公民館の利用者数は減少傾向にあり、その原因としては、これまで公民館を利用していた方々が高齢化のため公民館での活動をやめていること、そして、当館が新しい利用者を取り込めていないこと等が考えられる。中央公民館の活動や施設利

用の情報、利用団体の情報などをSNSにより発信し、これまで公民館を利用していなかった方たちへ情報を届けることで、より多くの方に当館を利用してもらうことを目指す。

ユーチューブチャンネル「佐倉市生涯学習チャンネル」

①ねらい 公民館などで提供している生涯学習コンテンツをインターネットで動画配信するために、専用ユーチューブチャンネルを開設することで、リモート受講やアーカイブ化を可能にするとともに、講座申込のPRに活用する。

②提供方法 ユーチューブ

URL : https://www.youtube.com/channel/UC_Evupe1eNMbwI_VHW-j4Q

③実施内容

- ・講座・講演会の動画配信（講師の承諾が得られる場合）
- ・職員が作成した生涯学習動画
- ・公民館活動団体と協力して作成した動画
- ・公民館からのお知らせなど（施設利用、機材の紹介、修繕報告など）
- ・市民カレッジにおける利用（コロナ対応での活用や動画作成授業等）

※生涯学習的な内容であれば、公民館だけではなく、他所属作成動画でも利用できるものとする。

※著作権等の取扱いについては、広報課作成の広報番組の取り扱いに準じて扱うものとし、肖像権及び著作権等の利用について承諾をいただく。

④展望 本年度も、昨年度同様、主催事業講座の様子を撮影した動画を配信した。繰り返し視聴して内容への理解を深めることができるという動画配信の利点により、今後も、公民館事業の動画によって、様々な講座について理解を深めていただき、さらには公民館への関心を高めていただけたら幸いである。

7. 視聴覚教材ライブラリー事業

視聴覚機器貸出

- ①概要 佐倉市における視聴覚教育の振興を図るため、市内に所在する下記②の要件を満たす団体に、視聴覚ライブラリー機材（プロジェクター、スクリーン、DVDプレーヤー等）及び教材（DVD、ビデオテープ等）の無料貸出を行う。
- ②対象
- ・代表者が市内在住であり、市内在住者が概ね半数以上かつ原則3人以上の団体
 - ・学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
 - ・児童福祉法（昭和22年法律第164号）第24条第1項に規定する保育所又は同条第2項に規定する認定こども園
 - ・官公署
 - ・その他教育委員会が必要と認める団体
- ③貸出機器
- 機材
 - ・プロジェクター
 - ・スクリーン
 - ・DVDプレーヤー
 - ・移動音響セット
 - ・スピーカー ほか
 - 教材
 - ・DVD
 - ・ビデオテープ
- ④展望 機材の整備を適宜に行い、市民のニーズに沿った事業運営に努める。